

少年の日の思い出 例解

課題 この作品は、書斎で、客である「友人（僕）」が少年時代の「ちよう」にまつわる思い出を語るとい構成になっています。大人になった「友人（僕）」は、この思い出についてどう思っているでしょうか。

その前に

① 「友人（僕）」にとってこの思い出は、ひと言でいってどんな思い出と言えますか。

（例）ちよう集めをやめることになった、とてもつらい思い出。

（例）話すのも恥ずかしい思い出。

② 「友人（僕）」が「ちよう」にまつわるこの経験から学んだことは何ですか。

ヒント 「僕は、～ということを知った。」に着目。

（例）一度起きたことは、もう償いのできないものだという事。

年 組 番 名前

● 作品の続きを、次の書き出しに続けて創作しなさい。ただし、「友人（僕）」にとってこの思い出がどういうものであったか、どんなことを学んだかについて触れること。原稿用紙の書き方に従って書きなさい。

友人は、語り終わると、ランプに火を入れてくれるよう私に静かに申し出た。再び明かりのもどった書斎で、彼は次のように言った。

（例）

に		に	そ	と	き	っ	る	っ	「
葉	友	役	の	思	な	て	よ	た	こ
巻	人	立	後	い	い	深	。	今	の
に	は	っ	の	知	こ	く	自	で	思
火	そ	た	私	ら	と	傷	分	も	い
を	う	さ	の	さ	が	っ	が	私	出
っ	言	。	生	れ	世	き	犯	を	は
け	う	「	き	た	の	、	し	苦	、
た	と		方	こ	中	償	た	し	大
。	、		に	と	に	い	罪	め	人
	静		大	は	あ	の	に	て	に
	か		い	、	る	で	よ	い	な